

2010年7月

ご関係各位

雑誌広告デジタル送稿推進協議会

（ 社団法人日本雑誌協会  
社団法人日本雑誌広告協会  
社団法人日本広告業協会 ）

---

雑誌広告[純広]の校正出校は2010年12月末で終了いたします

---

平素は雑誌広告デジタル送稿推進協議会の活動にご高配・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本年4月に、Mac OS 9とF(フルデータ)ルールによる運用は2010年12月末で終了する旨の発表をさせていただきました。これにより、雑誌広告デジタル送稿における3つの制作ルール(J1、F1、F2)は廃止、来年1月入稿分からは校了入稿であるJ2とJ-PDFのみの制作ルールで運用します。

言い換えますと、本年12月末をもって校正出校(出版社校正)は終了となります。

これは上記3協会が構成している当協議会が策定・推進しているロードマップ(<http://www.3djma.jp/>)に沿った決定であり、本年4月から各出版社がいっせいに開始したデジタル・ワークフローへの移行に続き、来年4月にサービス開始予定のオンライン送稿に向けた一つのステップでもあります。また、デジタル・ワークフローに関する一連の動きにつきましては、日本アドバタイザーズ協会様に逐次ご報告しており、加盟社様からもご理解をいただいております。

オンライン送稿につきましては、事業会社の選定作業を終え、円滑な運用をするためのシステム設計および検証作業を、当協議会と事業会社との間で開始いたしました。

JMPAカラー(雑誌広告基準カラー)による運用の最大の目標は、広告主様から広告会社、出版社、印刷会社に向けてワンウェイフローを実現することです。J2およびJ-PDFの制作ルールを遵守して作られた精度の高いデータは、色調再現性の安定化に寄与することはいうまでもありません。また、J-PDFはオンライン送稿を行なうための唯一のフォーマットとして、当協議会としてもさらなる広報活動をして参ります。

ぜひ、主旨をご理解いただき、ご関係の皆様にはご協力を賜りますようお願い申し上げます。また、今後も当協議会の活動に引き続きましてのご協力をお願いいたします。